



2020年12月期第1四半期
(2020年1月1日～2020年3月31日)

決算説明資料

2020年5月13日



Contents

1. 第1四半期決算概要	02
2. 新型コロナウイルスの影響	10
3. 業績見通し	13
Appendix 会社概要、売上区分について	18

※本資料における財務数値は国際会計基準(IFRS)を適用した連結会計の数値です。表示単位未満を四捨五入しています。

Contents

1. 第1四半期決算概要

2. 新型コロナウイルスの影響

3. 業績見通し

Appendix 会社概要、売上区分について

新型コロナウイルス感染拡大により、3月末にかけて営業活動に影響はあったが、増収増益を達成

(百万円)	FY2020 1Q	FY2019 1Q	増減額	増減率
売上収益	5,279	4,925	+354	+7.2%
営業利益	610	420	+190	+45.3%
税引前四半期利益	627	423	+203	+48.0%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	413	274	+139	+50.9%
基本的 1 株当たり四半期利益	4.72	3.13	-	-

カスタマー数の増加と機器販売の好調により、プラットフォーム、アプリケーションともに増収

(百万円)	FY2020 1Q	FY2019 1Q	増減額	増減率
プラットフォーム	2,409	2,303	+106	+4.6%
基本	1,770	1,707	+62	+3.7%
EDI・決済	222	228	-6	-2.8%
サポート	380	336	+44	+13.1%
その他	37	31	+6	+18.5%
アプリケーション	2,870	2,622	+248	+9.5%
業種別	2,083	2,149	-66	-3.1%
OTRS	90	121	-31	-25.5%
その他	697	352	+345	+98.0%
合計	5,279	4,925	+354	+7.2%

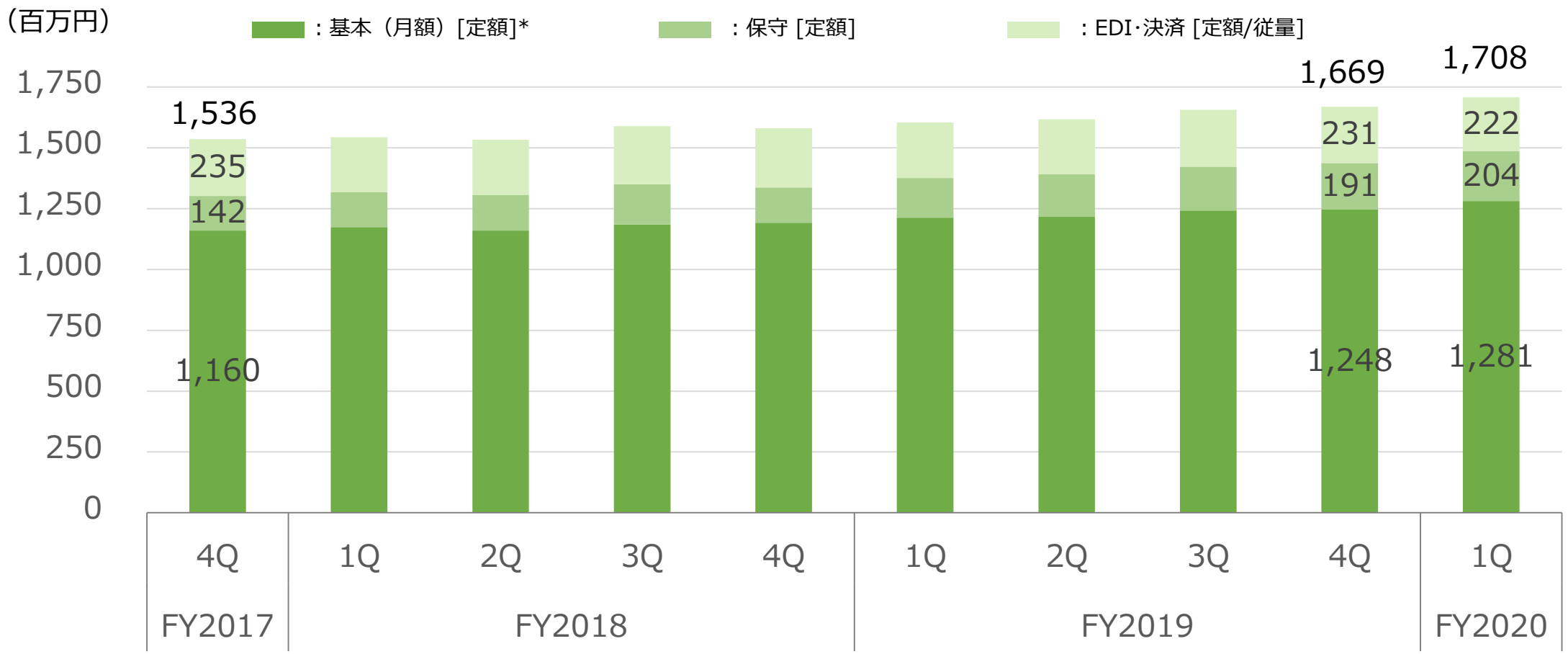
カスタマー数の増加や保守契約率の向上により月額売上が増収、一方でPSFは市場要因により苦戦

(百万円)		FY2020 1Q	FY2019 1Q	増減額	増減率
基本		1,770	1,707	+62	+3.7%
PaaS/SaaS		1,215	1,195	+20	+1.7%
	一括	489	495	-6	-1.2%
	月額	727	700	+26	+3.7%
IaaS	月額	555	512	+42	+8.2%
EDI・決済		222	228	-6	-2.8%
PSF *	月額	138	151	-13	-8.3%
BLP/CPT *	月額	84	78	+6	+8.0%
サポート		380	336	+44	+13.1%
保守	月額	204	163	+41	+25.0%
サプライ品	一括	176	172	+3	+1.8%
その他	-	37	31	+6	+18.5%
合計		2,409	2,303	+106	+4.6%

* PSF : 自動車リサイクル部品取引ネットワーク「パーツステーションNET」での決済代行手数料 BLP : 「BLパーツオーダーシステム」の利用料 CPT : 「CarpodTab」の利用料

月額売上の四半期推移

カスタマー数の増加、サービスの付加価値向上策や月額保守契約率の向上策を強化したことによりプラットフォーム基本の月額売上と保守売上は増加、一方で市場要因もありEDI・決済は横ばい

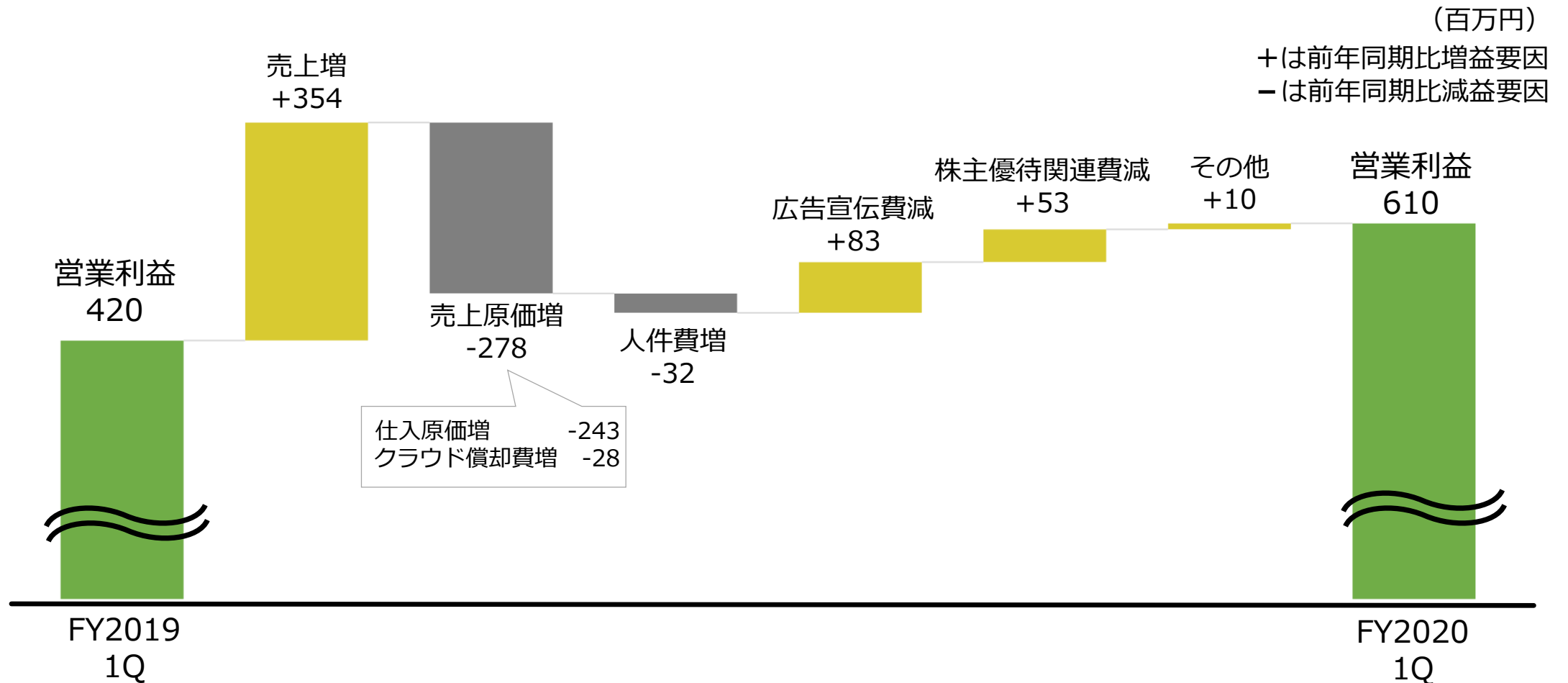


*プラットフォーム基本の PaaS/SaaS (月額) とIaaSの合計

自動車系は新規顧客の獲得が引き続き好調、機器販売の大型案件によりその他が大幅増収、一方で、非自動車系とOTRSは案件数減少に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり減収

(百万円)	FY2020 1Q	FY2019 1Q	増減額	増減率
業種別	2,083	2,149	-66	-3.1%
自動車系	1,810	1,787	+23	+1.3%
非自動車系	273	362	-89	-24.6%
OTRS	90	121	-31	-25.5%
その他	697	352	+345	+98.0%
アプリケーション合計	2,870	2,622	+248	+9.5%

機器販売の好調を反映した仕入高増により原価が増加した一方、
 広告宣伝費や株主優待関連費の低減等により販管費は減少



クラウド開発投資により無形資産が増加、期初計画どおり銀行借入（17億円）を実施

(百万円)	FY2020 1Q末	FY2019 期末	増減額	主な増減要因
流動資産	7,896	7,987	-91	現金及び現金同等物 +260 営業債権及びその他の債権 -322
非流動資産	23,827	23,702	+125	無形資産 +372
資産合計	31,722	31,689	+34	
流動負債	7,382	7,100	+282	短期有利子負債 +1,659
非流動負債	1,350	1,369	-19	長期有利子負債 -27
負債合計	8,732	8,469	+263	
資本合計	22,990	23,220	-229	四半期利益の計上 +413 配当支払 -568
負債及び資本合計	31,722	31,689	+34	

Contents

1. 第1四半期決算概要

2. 新型コロナウイルスの影響

3. 業績見通し

Appendix 会社概要、売上区分について

3月下旬から営業活動の制限により、案件のクロージングフェーズへの移行に時間を要する状況に

項目	影響	状況
感染有無	感染者なし	従業員およびその家族から感染者は出ていない。 本社および各支店、営業所とも、入居ビル内で感染者は出ていない。
オペレーション全般	支障なし	4月8日から国内7拠点で原則在宅勤務に移行。 4月17日から国内12拠点に原則在宅勤務を拡大、残りの17拠点を在宅勤務推奨に移行。 社内融資制度の拡充など、制度面で従業員の生活を支援。
カスタマー状況	部分的に縮小	カスタマー企業のほとんどは営業継続中（バス事業者等の一部を除く）。 車検特例措置により自動車整備需要が6月以降に集中する。
需要	減退は限定的	業務継続に必須な基幹システムを提供していることから、需要が消滅することは基本的にない。 オンラインサービス（サプライ品EC/SMSサービス等）の利用者数は増加。
営業	オンライン中心	営業担当とコンタクトセンターによる電話やメールを基本に営業活動は継続中。 3月下旬から外出制限が強化され、対面営業が困難となり案件クロージングに時間を要する傾向。 カスタマー企業の了解が得られれば出向くケースもある。
調達	概ね支障なし	機器類の一部機種のみ入荷遅延がみられるが、 ほとんどの販売用PC等機器類、事務サプライ品は入荷できている。
開発	支障なし	外注先の一部で遅延が見られるものの、リカバリー可能範囲であり、新商品（クラウドソフト）のリリースについては計画通りの見通し。
財務	支障なし	1Qで銀行借り入れを17億円実施（期初からの計画通り）。 カスタマー企業のほとんどは営業継続中であるため、現状、回収リスク上昇は見込んでいない。

需要の減退は限定的であるものの、案件のクロージングフェーズへの移行が遅延する傾向
 広告宣伝費の一部や活動抑制に伴う支出減が見込まれる一方、在宅勤務対応等の追加コストが発生

■ トップラインへの影響

項目	解説
1Qでの遅延額	主に3月から商談規模として400百万円程度クロージングフェーズへの移行遅延が発生
2Qでの遅延見込み額	緊急事態宣言下（4-5月）は、3月と同様な影響が出る可能性あり これらの影響を6月単月でどの程度カバーできるか現時点で見通しは困難
下期での遅延見込み額	上期からの案件ずれ込みにより、下期見込み案件がさらに遅延するリスクもあり

■ コストへの影響

項目	解説
1Qでの支出減（営業経費など）	大規模展示会（IAAE）中止により、58百万円（広告宣伝費）が増益要因に
1Qでの追加コスト（コロナ対策費など）	なし
1Qから2Qへの計上の期ずれ	販管費全体で35百万円
2Q以降でのコスト増減	2Q以降の追加コスト（コロナ対策費等）や支出減（活動経費等）の見通し策定中

Contents

1. 第1四半期決算概要

2. 新型コロナウイルスの影響

3. 業績見通し

Appendix 会社概要、売上区分について

新型コロナウイルス感染拡大の連結業績への影響は、現時点で見通すことは困難であることから、2020年2月14日に公表した業績予想を据え置くが、変更が生じた場合は速やかに公表予定

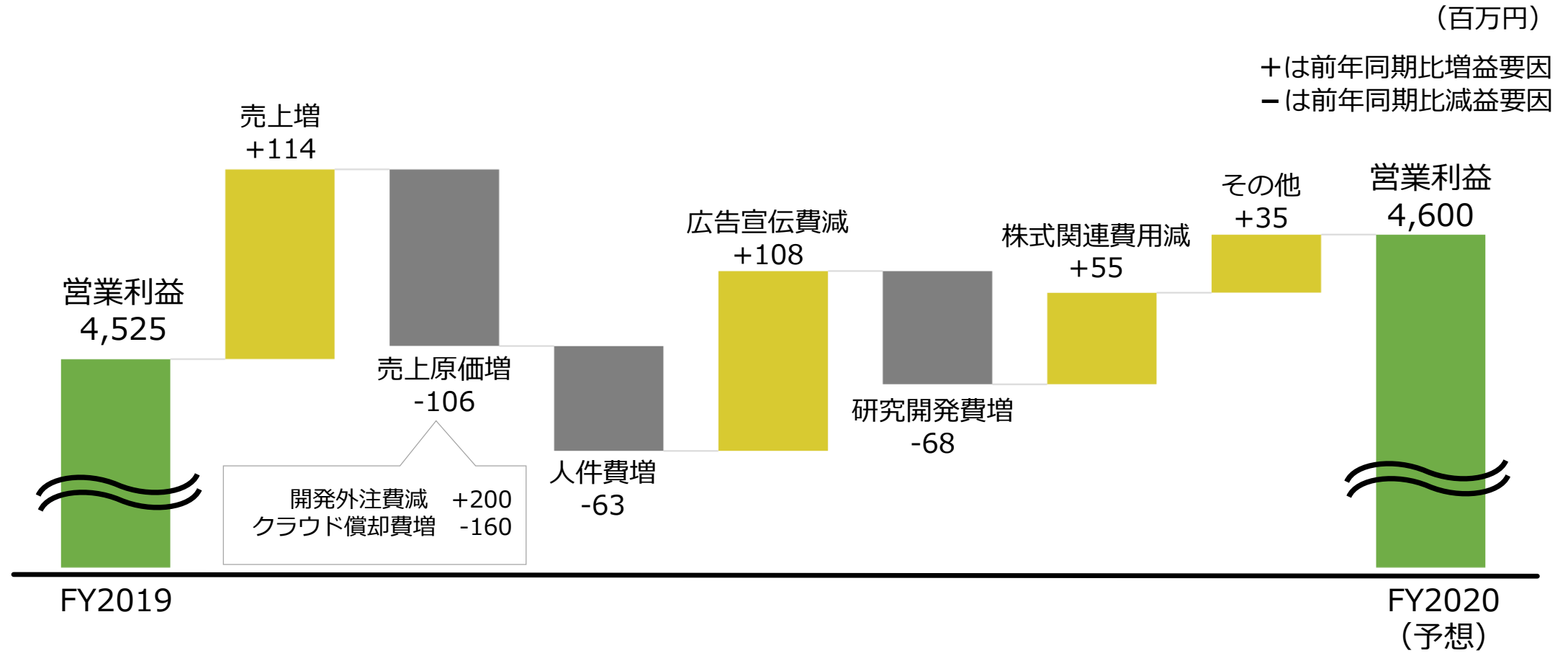
(百万円)	FY2020 通期	FY2019 通期	増減額	増減率	FY2020 上期	FY2019 上期	増減額	増減率
売上収益	22,700	22,586	+114	+0.5%	11,200	11,072	+128	+1.2%
営業利益	4,600	4,525	+75	+1.7%	2,000	2,080	-80	-3.8%
税引前利益	4,600	4,486	+114	+2.6%	2,000	2,075	-75	-3.6%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	3,100	3,093	+7	+0.2%	1,300	1,361	-61	-4.5%
基本的 1 株当たり当期利益	35.46円	35.40円	-	-	14.87円	15.59円	-	-

売上区分別の予想も2020年2月14日に公表した業績予想を据え置く

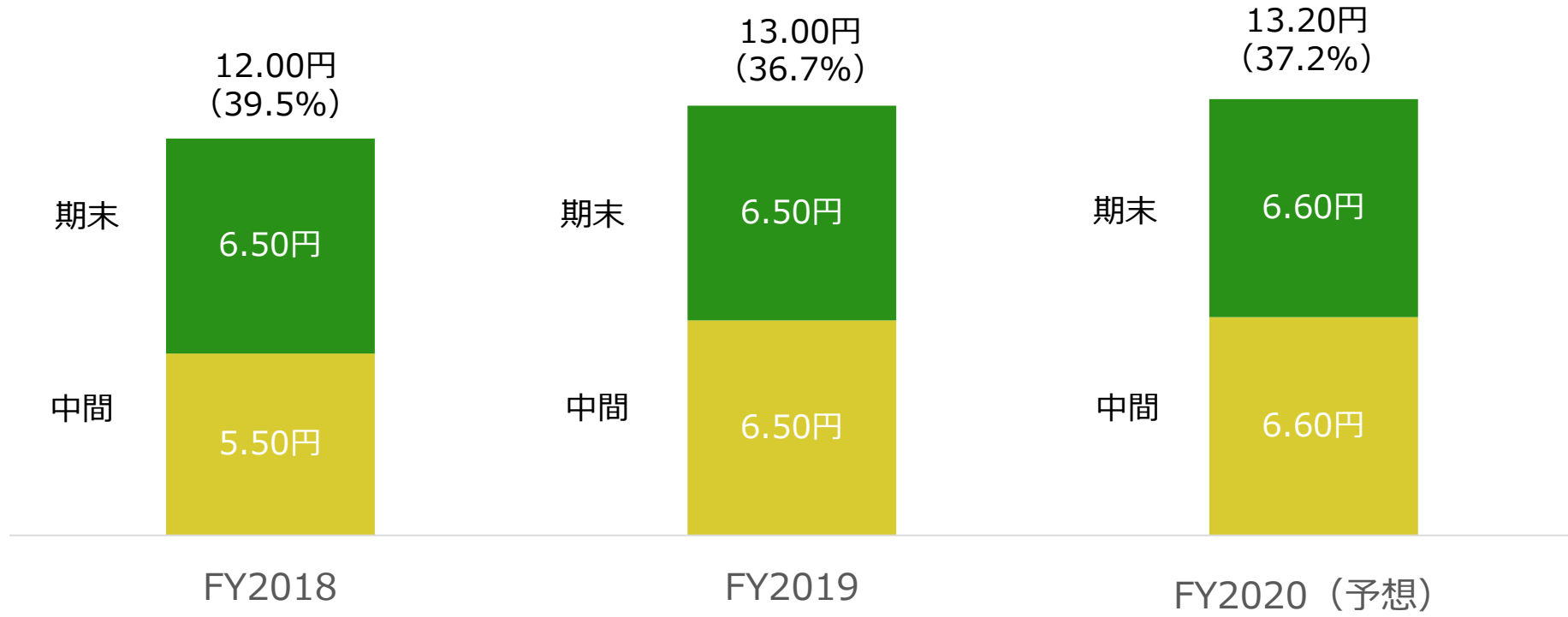
(百万円)	FY2020 通期	FY2019 通期	増減額	増減率	FY2020 上期	FY2019 上期	増減額	増減率
プラットフォーム	10,500	10,192	+308	+3.0%	5,150	4,948	+202	+4.1%
基本	7,850	7,654	+196	+2.6%	3,850	3,717	+133	+3.6%
EDI・決済	950	920	+30	+3.3%	450	455	-5	-1.0%
サポート	1,500	1,478	+22	+1.5%	750	706	+44	+6.2%
その他	200	140	+60	+42.6%	100	70	+30	+42.5%
アプリケーション	12,200	12,394	-194	-1.6%	6,050	6,123	-73	-1.2%
業種別	10,000	10,448	-448	-4.3%	4,850	5,173	-323	-6.2%
OTRS	350	338	+12	+3.6%	150	208	-58	-27.7%
その他	1,850	1,608	+242	+15.1%	1,050	743	+307	+41.4%
合計	22,700	22,586	+114	+0.5%	11,200	11,072	+128	+1.2%

営業利益の増減内訳（通期）

活動効率化の推進によりコスト増を吸収し増益を見込む



2020年2月14日に公表した配当予想を据え置く



(カッコ内) は配当性向

Contents

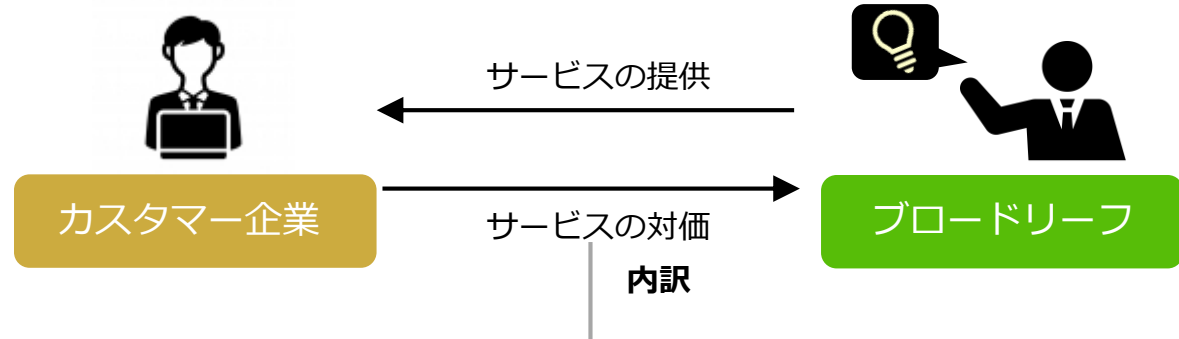
1. 第1四半期決算概要
2. 新型コロナウイルスの影響
3. 業績見通し

Appendix 会社概要、売上区分について

会社名	株式会社ブロードリーフ
代表者	代表取締役社長 大山 堅司
上場市場	東京証券取引所市場第一部 (3673) 2013年3月22日上場
創業/設立	2005年12月/2009年9月
資本金	7,148百万円 (連結)
事業内容	自社開発の業務ソフトウェアをはじめ各種 I Tサービスを幅広く展開。 カーアフター産業に属する事業者向けを中心に、基幹システムとなる業務ソフトウェアを提供するほか、自動車部品の電子売買ネットワークやビッグデータ分析など、多様な独自サービスをワンストップで提供。 また、今後のモビリティ社会の進化を見据え、先端技術の実用化に関する調査研究を推進中。
本社所在地	東京都品川区東品川4-13-14 グラスキューブ品川8F
営業拠点	全国 29拠点
開発拠点	全国 3拠点 (札幌・東京・福岡)

売上区分について① サービスの種類

カスタマー企業に対して、業務ソフトウェアを含む複数のサービスをワンセットで提供します



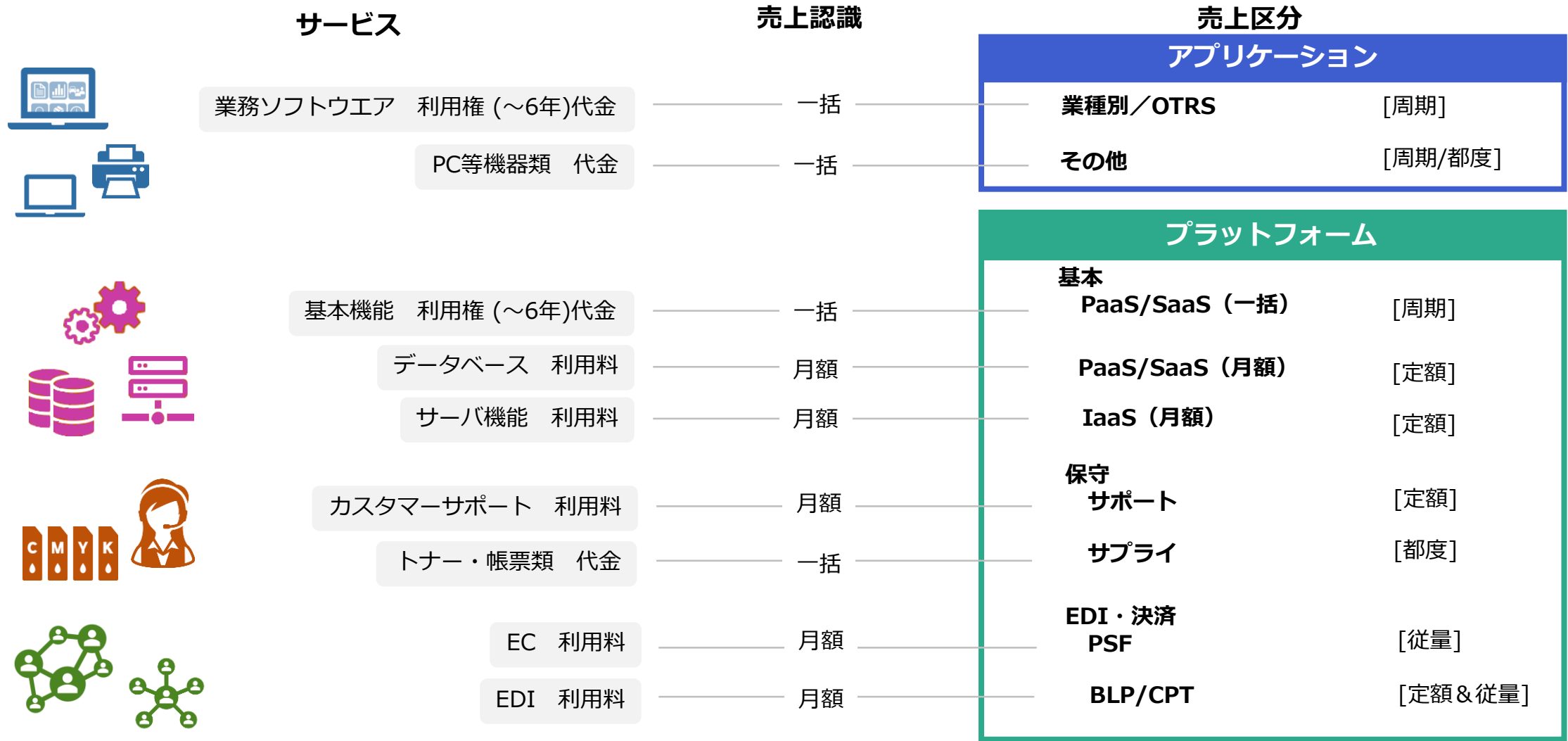
	必須	必須	必須	必須	任意 +2	任意	任意	任意	任意
サービス名称	業務ソフト	業務ソフト (基本機能)	データベース	サーバ機能	カスタマーサポート	インクナー帳票類	自動車リサイクル部品EC	自動車部品EDI	PC等機器類
対価属性	利用権 購入代金 *1	利用権 購入代金 *1	利用料	利用料	利用料	商品 購入代金	利用料	利用料	商品 購入代金
売上認識	一括	一括	月額	月額	月額	一括	月額	月額	一括

*1 利用権は最長6年
*2 2019年後半から契約率向上策を強化

注) カスタマー企業の業種によって提供サービス範囲が異なります。

売上区分について② 売上区分との対応

サービス種類ごとに売上認識が異なるため、サービス種類と売上区分を対応させています



免責事項

本資料に記載されている業績予想および将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき当社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

したがって、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

お問い合わせ先

株式会社ブロードリーフ
インベスターリレーションズ室
E-Mail : bl-ir@broadleaf.co.jp